

「平成23年度予算要求状況」に対する市民意見の内容及び市の考え方

反映結果

- 1 意見が予算案に反映されているもの
- 2 予算案に反映していないもの
- 3 予算措置とは関係ないもの

1 人を育てる

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	子ども家庭局	子ども手当について ・子ども手当は必要ない。 ・子ども手当は家庭の所得に応じてほしい。 ・子ども手当の支給など個別に現金を支給することは好ましくない。	6	子ども手当制度は法律に基づいた制度です。そのため、本市では平成23年4月分から9月分までは、子ども手当のつなぎ法に基づき、その必要額を予算計上しています。また、10月分以降は、従来の児童手当法に基づく必要額を予算計上しています。	2
2	子ども家庭局	少子化対策について 少子化対策を報道などではよく聞かれますが、実際には子ども手当のみ支給して、これだけで環境としては変わっていない。児童向けの民間事業（認可外保育所やチャイルドマインダー等）への助成金をもっと増やしても良いと思う。	1	本市では「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指してさまざまな取り組みを行っています。 例えば認可保育所においては、保育所の増設による定員の拡大や、延長保育・一時保育といった特別保育にも力を入れています。 また外出の際に安心して授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録したり、「ほっと子育てふれあいセンター」では、依頼会員と提供会員のマッチングを行い、仕事の都合や子どもの軽い病気の際に、子どもの預かりや送迎などに活用できる子育て支援サービスの充実を図っているところです。 ご提案の認可外保育施設については、運営費自体の補助は行っておりませんが、児童と職員の健康診断経費の一部や、施設の職員が市主催の研修会に参加するための経費の一部について補助を行っています。 また、「チャイルドマインダー」については、イギリスが発祥の民間資格であることは認識していますが、国内には「保育士」という国家資格があることもあり、本市ではこの資格を取得・活用することのみを要件とした補助事業は行っておりません。	1
3	子ども家庭局	青少年育成に関する施設について 堀越キャンプ場（小倉南区）の運営に指定管理者制度を導入することを提案する。 あわせて、子どもの生活体験を補完し、基本的な生活習慣を身につけさせるため、生活棟や管理棟施設を新設することを要望する。	2	現在、市が運営するキャンプ場は6つありますが、比較的小規模な施設であるため、指定管理者制度になじまないと考えています。 ご指摘の堀越キャンプ場を含め、いくつかのキャンプ場では、地元関係団体で組織されたキャンプ場運営委員会などに管理運営をお願いしています。 キャンプ場などを利用することにより、子どもたちが自然環境の中で、ふだん経験することができない生活を体験することによって、基本的な生活習慣を身につけていくことはとても大切なことだと考えています。 このため、本市では、少年自然の家等において、野外活動等を通じた生活体験・なかまづくりなど、様々な事業を行っており、こちらもご活用いただきたいと思います。	2
4	教育委員会	幼稚園の芝生化について 幼稚園に芝生を敷くよりも、園には岩や山を作ってあげたい。	1	子どもたちの体力低下が懸念される中、幼児期からの体力向上を図ることは大変重要であります。そのため、園庭を芝生化することにより、子どもがのびのびと活動できる教育環境をつくることは非常に有効であると考えています。 すでに芝生化している幼稚園の声を聞いてみますと、怪我が少なくなった、子どもの動きが変わった（怪我が怖くなったため）、芝生の上では夏場の温度が2～3度低い（特に園児は背が低いと顕著に反応がでる）等の効果を聞いています。	3

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
5	教育委員会	教員の増員について 教員の負担を軽減するためにも、教員を増やしてほしい。	1	<p>教員の定数については、児童生徒数に応じて県により決定されていますが、これに加えて、少人数・習熟度別指導や生徒指導などの加配教員が配置されています。</p> <p>本市では、県に対して、これまでも教職員定数の充実について要望を行ってきたところであり、今後も継続して要望していきたいと考えています。</p> <p>また、これに加えて、市の予算により、学校支援のための市費講師等を配置しているところです。今後も学校の規模や課題に応じて、適切な教員配置を行っていききたいと考えています。</p>	1
6	教育委員会	理不尽な要求に対応する学校や教師の負担軽減について 学校や教師は、保護者等からの理不尽な要求の対応に大変苦慮している。弁護士等を雇用して負担軽減を図ってほしい。	2	<p>保護者等からの執拗な苦情や不当な要求の対応では、学校や教職員が多くの時間と労力を費やし、学校運営に支障をきたすような事態が発生しています。</p> <p>本市では、平成19年に、弁護士・精神科医・臨床心理士・警察官OBの各分野の専門家からなる「学校支援チーム」を設立し、法的または専門的な知識を必要とするものについて、学校から相談を受けて助言を行うなど、学校と教職員の支援および負担軽減を図っているところです。</p>	1
7	教育委員会	市民講座について フラワーコーディネーターに予算をつけてほしい。	1	<p>市民講座は、地域課題の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座、趣味・実技的な講座など幅広い内容で、地域ニーズに応じて各市民センターで取り組んでいます。</p> <p>いくつかの市民センターで開設しているフラワーコーディネーターを講師に迎えたフラワーアレンジメント等の講座も市民講座の一講座として実施されています。</p>	1
8	教育委員会	学校給食について 学校の給食はいいものではないか。なぜみんなが同じものを食べないといけないのか。	1	<p>学校給食は、学校給食法において児童生徒の心身の健全な発達に資し、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであるとされています。また、学習指導要領において、教育課程上の学級活動として位置づけられており、学校教育活動の一環として実施されているものです。</p>	2
9	教育委員会	図書館について 地域図書館の蔵書の選定にもっと利用者のニーズや要望を反映してほしい。	1	<p>図書館では、公共図書館の役割や利用者各層の要求及び社会的な動向を配慮して、図書を収集しています。</p> <p>図書館の図書の選定方法につきましては、図書館職員が選定する方法と、市民からのリクエストに応じて選定する2つの方法があります。</p> <p>市民からのリクエストの場合は、図書館窓口でのリクエスト申込書のご提出やFAXによる申し込みができますので、お気軽にご利用ください。</p> <p>ただし全てのリクエストに蔵書としてお応えすることは困難ですので、他都市図書館からの取寄せ制度を活用する等、効率的な運営に努めておりますので何卒ご了承願います。</p>	1

2 きずなを結ぶ

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	総務企画局	被災地に対する救援金について北九州市として、東日本大震災の被災地に対して、救援金（見舞金）の予算措置をしてはどうか。	1	平成22年度予算の予備費の中から、岩手県、宮城県、福島県、仙台市に対して、1億円を見舞金として、拠出させていただきました。	1
2	市民文化スポーツ局	防犯灯について電灯が少ないところが多くて、街が暗い。もっと予算を増やして危なくないようにしてほしい。	1	防犯灯の整備については、自主的なコミュニティ活動の一環として、市街地にあっては自治会・町内会が設置し、自治会等の負担に馴染まないところや公共性の高い箇所については市が設置しています。 また、自治会等の設置にあたっては、市が設置や維持管理に対する補助制度を設け、地元負担の軽減に努めています。 今後は、環境にやさしいLED灯の導入、普及促進にも取り組んでまいります。	1
3	保健福祉局	福祉・医療費の抑制 厳しい財政状況の中、増加が予測される福祉・医療費について、財源確保も重要だが、経費抑制に取り組む必要がある。 様々な事業が実施されているが、真に効果的な事業であるか評価し、実効性のある取組みを進めてほしい。	1	福祉・医療費については、高齢化の進展や多様化する市民ニーズに対し必要な予算をしっかりと確保していきます。その一方で、「北九州市経営プラン」に基づく経営改革に取り組むほか、「行政評価システム」の中で施策や事業ごとに成果指標を定め、その評価結果に基づいて、事業の改善を行っていきます。これらの取組みを基に毎年「保健福祉局経営方針」を策定し、効果的・効率的な事業展開を図っていきます。	1
4	保健福祉局	福祉予算の充実 福祉予算にもっと十分に使ってほしい。介護に関する予算を保険料として徴収するのではなく、他の部門からまわしてほしい。	1	介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支えるしくみとして創設されました。地域の実情等に応じて3年に1度事業計画を見直し、それを元に介護を必要とされる方が十分にサービスを利用できるように予算を計上しています。 介護サービスに必要な費用の財源割合は、利用者の1割負担を除いて、50%は公費（税金）、残りの50%を保険料として40歳以上のみなさんにご負担いただいています。 ご理解いただきますようお願いいたします。	1
5	保健福祉局	生活保護について 生活保護受給者には若くて働ける人がいるが、無駄ではないか。	1	生活保護は、生活に困窮する者が、その利用し得る資産、能力その他あらゆるものを、その最低限度の生活の維持のために活用することを要件としています。 若くて働ける人に対しては、就労支援に重点的に取り組み、能力を活用させて一日も早い自立を促しています。	1
6	保健福祉局	介護保険について 介護保険は前年度と同額の予算とならないのか。	1	平成23年度は、高齢者数の増加等により、前年度と比べ介護サービスを利用する方が増える見込です。 介護が必要なときに、必要な方に十分にサービスを提供できるよう、介護保険の給付費（サービスに係る費用）など必要な費用を計上した結果、予算額は前年度より増額となります。 なお、介護保険料は前年度と変更はございません。 ご理解いただきますようお願いいたします。	2
7	保健福祉局	国民健康保険について 国民健康保険料の負担を少し下げたい。	2	国民健康保険制度では、医療にかかる給付費の半分を国・県からの支出金で、残りの半分を保険料で賄うことが原則となっています。 北九州市は高齢化が進み、また、医療機関が充実していることから、平成21年度の被保険者一人当たり医療費は政令市で最も高くなっています。この医療費は、年々上昇し続けています。 そのため、原則どおりに保険料を賦課すると、被保険者の方々の負担が過重となるため、本市では、一般会計から多額の繰入れを行い、「一人当たり平均保険料」は政令市で最も低くなっています。 また、本市では、保険料負担の軽減のため、制度設計を行う国に対して、公費負担の拡充などを提案・要望しており、今後ともこの取組みを継続してまいります。	2

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
8	保健福祉局	高齢者施策の充実 高齢者にもう少し手当てをしてほしい。	1	本市では、介護予防事業や認知症対策など、現在の高齢社会における課題に取り組むとともに、高齢者を敬愛し、長寿をお祝いするため、敬老祝金の支給や、敬老行事への補助、年長者施設利用証の発行などを行っています。	1
9	保健福祉局	老人福祉施設について 養護老人ホームをもっと建ててほしい。待っている人が多いと聞く。	1	養護老人ホームは、経済的な問題等により在宅生活が困難な方が入所する措置施設ですが、現在のところ、対象の方は、順次、入所されている状態です。 また、特別養護老人ホームは、寝たきりなど常時介護が必要な方が入所する介護保険施設ですが、こちらは、ご指摘のとおり待機者が多いため、平成23年度末までに704人分を増床することとし、現在建設中です。 今後も、市民ニーズを十分把握した上で、施設等の整備計画を実施していきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	1
10	保健福祉局・交通局	高齢者用割引バスの発行について 神戸市のように、老人用（70才以上など）にバスの割引バスを発行してほしい。	1	本市では、現在、市営バスは75歳以上、北九州モノレールは65歳以上を対象に、割引制度を設けています。 新たなバスの割引バスの発行をとのご要望ですが、北九州市では、現在、介護予防事業や認知症対策などに優先的に取り組んでいるところであり、新たな割引バスの発行については困難であると考えています。ご理解いただきますようお願いいたします。	2
11	建設局	紫川関係の水害対策	1	2年連続の豪雨災害を受け、災害に強いまちを目指した河川や下水道施設の整備など、安全で安心できる災害に強いまちづくりを推進します。	1
12	建設局	水害対策について 紫川周辺又は市内各地に1時間で100mmの局地的ゲリラ豪雨時の対応は、どの程度進んでいるのか。	1	近年、各地で局所的に短時間かつ集中的な豪雨、いわゆる「ゲリラ豪雨」が発生しています。 本市においては、平成21年、22年7月の豪雨により2年連続で浸水被害が発生しており、これを重く受け止め、従来からの事業に加え、平成22年度から『水害から市民を守る緊急整備事業』に新たに着手し、5年間で河川・下水の緊急整備を集中的に取り組むこととしています。 さらに、災害時の避難に役立つ河川水位などの情報を提供する河川情報システムの整備を行います。 今後も、浸水のない安全で安心なまちづくりを目指し、計画的な河川整備や下水道整備を着実に推進してまいります。	1
13	建築都市局・消防局	学研都市の避難施設について 開発中の学研都市に小学校予定地があるが、災害時に多くの方が避難できる設備（通信・医療など）を備えた小学校を建設できるよう予算を回して欲しい。	1	北九州学術研究都市整備事業地内での小学校建設については、児童数の推移や開発の状況を見て慎重に検討しているところです。 なお、学研都市の避難施設については、北九州学術研究都市体育館が避難所に指定されています。	2
14	消防局	災害対策の充実 災害対策費などの充実を図ること。	1	本市での大雨災害や東日本大震災から得られた教訓については、本市の防災対策と照らし合わせ、必要なものについて、適時見直しを行い、必要な予算の確保に努めていきたいと考えています。	1
15	消防局	災害対策の充実 東日本大震災の影響で災害対策について、非常に市民が心配している部分があるので、そういった緊急資金への予算の確保をさらにお願いしたい。	1	本市での大雨災害や東日本大震災から得られた教訓については、本市の防災対策と照らし合わせ、必要なものについて、適時見直しを行い、予算確保に努めています。 また、市民の皆様の関心が高い防災対策については、出前講演などで積極的にご説明する予定です。	1

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
16	消防局	災害時の避難所について 避難所について、昨年の豪雨災害で、紫川のすぐ隣で安全とは言い切れないような施設や冠水により利用できなかった施設があった。東日本大震災の際も、津波により被災した避難所もあった。北九州市では、市民センターや学校の体育館を避難所に指定しているが、本当に安全なのか、再検討が必要である。	1	大雨災害や地震など災害の種別に応じて、毎年避難所の調査を行い指定をしています。 今回の震災を踏まえた課題を勘案しながら、安全な避難所を提供できるよう、さらなる検討を加えてまいります。	3
17	消防局	防災情報について 市内に雨量計、風速計、温度計、地震計等の基準地点がいかにも少なく、これが情報不足につながらないかと懸念している。	1	本市においては、独自に各行政区に配置した、雨量計、風速計及び温度計の活用と、気象台や民間気象会社が提供している情報を合わせ、災害対策に活用しています。 また、市民の方にもホームページ「防災情報北九州」を通じ、提供しています。 今後とも、情報の充実に努めていきたいと考えています。	3
18	消防局	災害対策について 東日本大震災に見られる緊急時の対応について、各部署の予算を削ってでも行う等、各部署でまず検討してほしい。又、広報してほしい。 東日本大震災クラスを想定して進めて欲しい。	1	本市での大雨災害や東日本大震災から得られた教訓については、本市の防災対策と照らし合わせ、必要なものについて、適時見直しを行い、予算確保に努めています。 また、地域防災の充実・強化に関する調査を行うこととしており、地域防災計画の見直しを検討していきます。	1
19	消防局	災害対策について 今回の震災後の状況を見ると、救援物資が被災地に届けられるまでの一定期間は調達が困難になっている。 食糧や飲料水等について、十分な備蓄が必要である。	1	災害時に必要な食料や飲料水については、被害想定をもとに毎年度計画的に備蓄を行っており、引き続き充実を図っているところです。 なお、本市においては、民間の物流会社と協力し、救援物資の一元管理や配送に係る計画を策定しています。	1

3 暮らしを彩る

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	市民文化スポーツ局	ワンストップサービスの推進	1	区役所窓口のワンストップサービスについては、平成22年10月に小倉北区役所で他区に先駆けて開始しました。今後は、小倉北区役所での経験を活かして、平成23年10月の全区実施に向けて準備を進めていきます。	1
2	市民文化スポーツ局	芸術、文化、スポーツ関連施設について 芸術、文化、スポーツ関連の施設について、足りない部分を補うことは必要だが、現存する施設の有効利用を優先させるべきではないか。	1	本市では、市の活性化に向けて芸術・文化、そしてスポーツの力を活用していくとの考えから、施設の充実、整備に力を入れており、一部、新たな施設の整備も進めていますが、基本的には現存する施設を有効に活用することを考えています。したがって、毎年適切な補修を行っており、各施設の状態、市民要望をよく把握し、より緊急度の高いものから改修を実施しており、安全・安心に利用できる施設を目指しています。	1
3	市民文化スポーツ局	にぎわいづくりについて 最近、前に比べて有名な芸能人のコンサートが少ない。福岡市に取られているのではないか。	1	平成22年度に「芸術・文化」が持つ力をまちづくりに活かし活性化につなげるための指針として、北九州市文化振興計画を策定しました。今後、計画に基づく取り組みを進め、福岡市にも負けないようなにぎわいを創出していきたいと考えています。	3

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
4	市民文化スポーツ局	プロ野球公式戦の誘致について北九州市民球場でのプロ野球公式戦を誘致してほしい。そうすれば、地域経済の活性化にもつながる。	1	北九州市民球場でのプロ野球公式戦の誘致については、北九州野球(株)が主体となって行っており、例年、プロ野球公式戦は福岡ソフトバンクホークス戦の2試合、ファーム(2軍)戦を1試合の計3試合を実施しています。(北九州野球(株)への本市の出資額 2,000千円<4.0%>) なお、今シーズンについては、20年ぶりに巨人戦の公式戦(H23/4/13)を実施するなど、オープン戦(H23/3/10)も含め、年間計5試合を予定しております。	1
5	市民文化スポーツ局	スタジアムについて スタジアムは、野球場としても使えるようにし、代わりに市民球場を壊してはどうか。	1	野球とサッカーのどちらでも利用できる施設の例として、札幌ドームがあります。札幌ドームは、厳しい気候条件の中でも室内で両種目が兼用できるよう、機械仕掛けでグラウンドを入れ替えるシステムを導入していますが、整備に約400億円の費用がかかっているようです。 また、そもそも野球とサッカーではグラウンドの形状や芝生の位置など、グラウンドの規格が全く異なるため、どちらの形状にも合うように観客席を設置した場合、場所によっては観客席とグラウンドに距離が生じ、臨場感を損ねてしまいます。 本市が構想中の球技場は、高い臨場感を味わえるよう、グラウンドと観客席が近い、サッカーやラグビーなどの球技専用の施設とするものとしています。(ラグビーとサッカーはグラウンドの規格が似ており、多くの兼用事例があります。) なお、北九州市民球場については、建設してから50年が経過して、老朽化が進み、抜本的整備の必要性は十分認識していますが、本市の厳しい財政状況から、プロ野球等の開催に支障がないよう機能維持や安全確保等の観点から、適宜必要な改修(座席の取替え、トイレの改修、照明の改修、スコアボードの取替え等)を行っているところです。 今後も効率良く維持管理を行いながら、大切に活用していきたいと考えています。	3
6	市民文化スポーツ局	スタジアムについて 新しいサッカースタジアムの建設には、反対である。2010年の成績が最下位で、観客動員にも苦戦しているギラヴァンツに対して市民の盛り上がりは全くない。 まずは、スタジアムをつくってやるうという市民の熱気が出てくるようなチームにすることが先ではないか。 ラグビーの試合も開催することだが、市内にラグビーのチームがあるのか。また、サッカーやラグビーに利用するとした場合のスケジュールはどうなるのか。	1	本市初のプロスポーツチーム「ギラヴァンツ北九州」の誕生は、まちのにぎわいの創出、都市ブランドの向上といった面に加え、ふるさとを愛する気持ちを高揚させ、市民が気持ちを一つにするという、誇りや一体感の醸成にとっても大変有効で、その活躍する舞台となる新球技場の整備の意義は大きいと考えています。 さらに、ギラヴァンツ北九州を中心に、市内各クラブ・協会等の団体とも連携しながら、スポーツを通して、子どもたちの健全育成を図れば、新球技場は子どもたちの夢やあこがれの施設にもなると考えています。 確かにギラヴァンツ北九州の昨シーズンの成績は振るいませんでしたが、今シーズンは監督の交代や選手の大規模な入れ替えによる戦力強化が行なわれております。また市も、地元企業、市民応援団等と一緒に支援強化に取り組んでいます。今シーズンは、ひとつでも多くの白星をあげ、多くの観客を市内外から呼べるチームに近づくことを期待しております。 本市に本拠地を置き九州ラグビーフットボール協会に所属するラグビーチームは、新日鐵八幡、安川電機、九州共立大学、帆柱クラブ、とうしろうクラブなど、全5チームあります。昨シーズンの市内での試合数としては、トップリーグ、トップキュウシュウ、九州学生リーグの試合などが、本城陸上競技場や鞘ヶ谷競技場などで全16試合行われています。また、新球技場が整備されれば、利用日数はさらに増えると考えています。 新球技場の年間の利用日数については、ギラヴァンツ北九州の公式戦やラグビートップリーグ、学生サッカー・ラグビーなどの試合開催やコンサート、市民利用などにより、天然芝のグラウンドの利用は約70日程度と見込んでいます。	3

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
7	市民文化スポーツ局	漫画ミュージアムについて 漫画ミュージアムは、大金を使わず今空いている所、黒崎の子どもの館やAIMなどを利用し、大きな建物は必要ないと思う。	1	「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」は、小倉駅新幹線口の小倉興産ビル21号館に入居・整備することとしており、大きな建物を建築し、整備する計画ではありません。 ご指摘のとおり、既存施設を活用することにより整備コストが軽減できることに加え、ビル全体を「漫画による統一コンセプトビル」にすることにより、漫画文化の発信など様々な効果を期待しています。	1
8	建設局	道路整備について 国道211号の中の下原から下りが(片側)1車線となり交通がスムーズに流れないため、どうかして欲しい。	1	国道211号につきましては、現在、八幡西区の上の原から町上津役の間を、4車線(片側2車線)に拡幅する整備を進めており、用地買収の完了した区間から順次工事を進めております。 平成23年度から、上津役西から小嶺台2丁目の区間につきましても、引続き道路拡幅事業を実施していく計画です。 なるべく早く交通がスムーズになるよう努めてまいりますので、ご理解の上、ご協力お願いいたします。	1
9	建設局	道路整備について 3月に道路工事が集中しているのは、予算消化のためなのか。3月にする時期の必要性を明確にしてほしい。 必要な工事場所、予算、時期を明確にしてほしい。	2	本市では、都市の発展や産業を支える道路整備や市民に身近な生活道路など、計画的に整備し、良好な状態を保てるよう維持管理にも努めています。 そのうち維持修繕については、同じ場所で何度も工事をしなくて済むように、水道、下水道、ガス管、電線類など、一緒に工事できるものは調整して工事を行っています。また、新設・拡幅の道路整備については、用地買収完了後に工事を行うため、下半期に工事が重なる傾向があります。 水道、下水道、ガス管、電線類などの工事は、前年度に調整会議を実施するなど対策を行い、新設・拡幅の道路整備は、用地買収を含めた進捗管理を行っております。 これまで皆様のご理解を得られるよう、工事の発注時期なども気をつけながら、事業を進めてきましたが、今後も気をつけてまいります。ご理解の上、ご協力お願いいたします。	3
10	建設局	道路整備について バスが通るのに狭い道路があり、危険である。	1	本市におきましては、生活道路の整備を積極的に推進しています。 ただ、住宅の密集している道路などでは、道路の拡幅も難しい箇所があります。その場合も、離合帯を確保するなど、色々と検討を行なっていきます。 ご理解の上、ご協力お願い致します。	3
11	建設局	黒崎駅前広場について 黒崎駅前広場が改修されたが、以前よりも混雑しているように思われるため、改善を求める。	1	黒崎駅前広場につきましては、バス・タクシー・自家用車の流れを分け、混雑の緩和を図るため、平成22年に改修工事を行いました。工事完了したばかりですので、少しずつ慣れていただければ、スムーズに流れていくと思います。今後も状況を確認しながら、改善点があれば対応していきます。ご理解の上、ご協力お願いいたします。	3
12	建設局	街の美化について 紫川(市街地)の両岸に雑草、ゴミがある。いつも美しく、散歩したい街になればよい。	1	河川維持費において河川の草刈等を年1~2回実施しています。また、市民の皆様による河川愛護団体にご協力をいただいて、河川の環境整備に努めていきます。	1
13	建設局	ベンチの設置について 街中にベンチが少ない。ちょっと休むところが欲しい。	1	歩道にベンチを設置するためには、歩道の幅員を車椅子や歩行者の離合を考慮して2m確保しておく必要があり、歩道幅の狭い歩道では設置が困難な状況です。 歩道幅の広い歩道につきましては、高齢化社会を踏まえ、今後研究してまいります。	3

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
14	建設局	補助金について 毎年交付されている公園の維持管理補助金を全額使い切ってしまうと言われており、残金が発生した場合は公園愛護会の手元に残されている。一つの公園ではわずかな金額かもしれないが、市の公園は多数あり、合算すると多額になると予測される。不純なお金が公園愛護会の手元に残されることについて、市の管理体制を伺いたい。	1	ご指摘のように、一年間の活動が終了した時点で剰余金があれば、返金してもらいたいものですので、補助金の適正な取り扱いを行うよう、各区役所の担当課に指導を行いました。 今後も引き続き、補助金の適正な事務処理について、監督してまいります。	3
15	建築都市局	特色ある景観づくりについて 故郷に愛着の持てる景観づくりにより、街の特色を出してもらいたい。	1	本市では、昭和60年に「北九州市都市景観条例」を施行し、門司港地区以外にも景観重点整備地区（現在8箇所）を設定するなど都市景観の向上に積極的に取り組んできました。 また、平成20年7月に市の基本指針として「北九州市景観づくりマスタープラン」を作成し、平成16年に制定された景観法を活用し、これまで取り組んできた地域の景観特性を活かした施策を拡充・強化するとともに、これからの市民主役の景観づくり活動を促進していくこととしております。 この指針に基づき、景観づくりに取り組んでいきます。	1

4 いきいきと働く

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	契約室・建設局ほか	公共事業の確保及び地元企業への優先発注について 地域経済の活性化を図る観点から、道路や公園、住宅整備など公共事業の予算を一定程度は確保する必要がある。その際、地元企業への発注を優先的に行えば、地域経済への効果も高まると思う。	1	国の公共事業の減少が見込まれる中、現下の経済情勢を勘案し、地域活性化・公共投資臨時交付金基金を活用するなど、市単独事業を上積みすることで、全体事業量を確保しています。 また、公共工事の発注にあたっては、従来から、技術的に施工が可能なものについては、地元企業優先を推進しており、今後も引き続き地元企業への優先発注を徹底してまいります。	1
2	総務企画局・産業経済局	人の集まる街づくりについて 北九州ブランドの商品を作ることや、北九州市の情報を発信して、市の知名度を上げ、人々がたくさん集まってくれるような街づくりを進めてもらいたい。	1	本市には、豊かな自然や食材など、ナンバーワン、オンリーワンの地域資源が数多くあります。こうした優れた資源をブランドとして磨き、育て、戦略的かつ効果的にPRしていくことで、本市イメージや認知度の向上を図り、国内外の人々に、「北九州市に行ってみよう、北九州産品を買ってみよう、さらには住んでみたい」と思ってもらえるための取り組みを行っています。 平成23年度は、「ブランド創造・シティプロモーション事業」として、美しいまちをコンセプトとした北九州ブランドの浸透を図り、市民のまちへの自信や誇りを醸成し、まちが一体となったシティプロモーションを展開していきます。 本市では、これまで、北九州市の情報、とりわけ「食」について、農林水産物の魅力を発信してきましたが、平成23年度は、ブランド力を強化する事業を立ち上げ、さらに食を通じた市の知名度アップ、街のにぎわいの創出、地産地消の推進に取り組めます。また、北九州ならではの特色を活かした、産業観光や工場夜景鑑賞ツアー、環境修学旅行による観光客の誘致を積極的に展開するなど、多くの方が本市に訪れていただけるような街づくりに取り組んでまいります。	1

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
3	産業経済局	経済雇用対策について 東日本大震災の影響等により、今後地域経済の悪化が懸念される。現時点から雇用の確保を重点的に取り組んでもらいたい。	1	本市では、平成20年秋以降の急速な景気後退を受け、平成20年度12月補正以降平成22年度3月補正までに、総額約3,500億円の経済・雇用対策予算を計上し、様々な施策に取り組んできました。 東日本大震災の影響も懸念されることから、今後も地域経済の動向に注視しながら、引き続き経済・雇用対策を実施し、雇用の確保に努めます。	1
4	産業経済局	雇用対策について 新卒者の就職率が低迷しており、新卒者と企業とのマッチングの機会の拡大をさらに充実する必要がある。地元で育てた若い力を地元で活かせるよう、北九州市立大学や九州工業大学などの地元大学とも連携した取組みを進めてもらいたい。	1	本市では、地元企業情報の提供・マッチング機会の創出を目的として、学生向け就職情報サイト「キタキュー就職ナビ」の運営や就職イベント（会社合同説明会）の開催など、新卒者の地元企業への就職の促進を図る取り組みを行っています。 今後も地元大学と連携し、これらの取り組みを進めていきます。 平成23年度予算においては、学生と地元企業のマッチングを更に促進するため、「キタキュー就職ナビ」の充実や、地元大学生の地元就職率向上や地域企業の技術力・経営力向上を図ることを目的とした、長期インターンシップを行う新規事業の予算などを計上しています。	1
5	産業経済局	若者の雇用対策について 高齢者や子ども対策も大事であるが、若者の雇用対策にもっと力を入れてほしい。	1	本市では、将来を担う若者が安定的な雇用のもとで、その意欲や能力を十分発揮できるように、若者向け就業支援施設を拠点としてきめ細かな支援を行っています。また、厳しい就職環境におかれている市内の学生等に対して、地元企業への就職を促進する取り組みも行っています。 さらに、中長期的な視点から、産業振興による雇用の受け皿の拡大を図るため、産業の育成・創出や企業誘致を積極的に展開しています。 平成23年度予算においては、若者の就業支援施策を更に効果的に推進するため、若者向け就業支援施設の運営や、学生向けの就職情報サイトの充実を図るための予算などを計上しています。	1
6	産業経済局	企業の資源対策について 中国のレアアース禁輸のように日本への資源の輸出を止められた時に、北九州市の企業が困らないような対策を予算でとっているのか。	1	資源の輸出制限問題に関しては政府を中心に対応しています。中国のレアアース輸出制限問題についても政府が中国に対して、その改善を強く求めているところです。 本市では、資源問題に関する事業として、代替資源の開発に係る研究を行っています。具体的には、低炭素化技術の研究開発に力を入れていて、資源エネルギー利用の効率化やリユース（ ）関連技術に関する研究プロジェクトを推進しているところです。 リユースとは、まだ使えそうなものを適切に洗浄や修理などをしてから、再使用することです。	1
7	産業経済局	観光振興について 北九州市が観光都市として街が大きくなることは、雇用・産業発達などに繋がり良いことである。今の北九州市には特色、魅力を感じないので、本当の街づくりを考え、特色のある観光都市にしてほしい。	1	観光は幅広い産業（宿泊業、飲食業など）に対し、雇用創出も含んだ経済波及効果が見込まれるため、本市においては、広範な産業振興を目的の一つとして、宿泊客を含めた観光客増に取り組んでいます。 まちづくりの視点からの事業推進は重要であり、「門司港レトロ地区」においては、ハード・ソフト両面で「観光」と「まちづくり」が一体となった取り組みを行った結果、本市最大の観光地となりました。 今後とも、更なる魅力あるまちづくり・観光地づくりに取り組んでいきます。 また、北九州ならではの特色を活かした、産業観光や工場夜景鑑賞ツアー、環境修学旅行による観光客の誘致を積極的に展開していきます。	1
8	産業経済局	九州新幹線開通に伴うPR対策について JR九州新幹線が開通したが、北九州市のアピールを全然見ない。何かしているのか。	1	本市にとっても、九州新幹線の全線開通は、絶好の集客のチャンスと考えています。 これまで、鹿児島を最重点地区と位置づけ、現地でのイベント開催や旅行会社に対するセールス、新聞などのマスコミを通じた観光PRを実施してきました。 （その様子は、現地メディアだけでなく、本市においても、新聞（2社）やテレビ（1社）で取り上げられました。） 今後とも、関西以西や九州新幹線沿線の主要都市において、PRなどを行う予定です。	1

5 街を支える

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	建設局	遊歩道の管理等について 八幡東高見三条から美術館の遊歩道の雑木刈込み等は毎年できないのか。管理担当者は月に1回はチェックをしてほしい。	1	遊歩道の雑木の刈込み等については、美術館周辺の主園路については樹木の整理を行いました。樹林地内の小園路（遊歩道）については、自然の山道の雰囲気を生かした散策を楽しんでいただくため、支障木・枝の整理程度の管理を行っていますので、ご理解をいただきたいと思ひます。 なお、階段の破損や園路の凹凸については補修を行います。	1
2	建築都市局	コムシティについて コムシティ再生のあり方会議の資料は公開すべきである。	1	会議録を市のホームページで公開しています。	3
3	港湾空港局	港湾空港予算について 空港利用者が少なくなっている中、港湾空港予算が23年は高くなっているが、どうしてか。	1	平成23年度は、臨海部産業用地貸付制度を利用した産業用地の貸付案件が予定されていることから、土地取得費用を予算要求しており、港湾空港局一般会計予算が前年度より増加しています。 一方、北九州空港は人やモノの交流という観点から圏域の地域経済基盤であり、北九州市民の利便性の確保という意味でも必要不可欠なものです。また、平成22年度の空港利用者数に関しましては、平成21年度と比較して増加しています。 今後も、必要最小限の予算で最大の効果が得られるように効率化を図りながら、北九州市の発展に寄与できる空港となるよう取り組んでまいります。	3
4	交通局	市営バスについて 利用者の少ない場所や時間帯では大型バスを走らせるのではなく、小型バスに変更して、予算を減らし、便数を増やしたほうが、利用者は喜ぶのではないか。	1	現在、交通局では、中型バス22台・小型バス2台を保有しています。中・小型バスは、購入費や燃費等で若干有利な面がありますが、バス運行経費の大半は人件費が占めていることや、朝夕のラッシュ時や幹線において満員通過が発生する可能性があること、乗降口が狭いこと等のデメリットもあります。 このため、今後の中・小型車の導入については、路線の再編成の中で、検討していきます。	3

6 環境を未来に引き継ぐ

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	環境局	不法投棄対策について 各部局で実施したものの、その後、チェックやパトロール、対処は予算化されているのか。例えば、妙見から安部山公園までの道路で、不法投棄が目についた。早めの対応が必要である。	1	不法投棄対策につきましては、「不法投棄防止事業」として予算化しており、 不法投棄防止監視カメラの設置 土曜・日曜日、祝日及び早朝夜間を含めたパトロールの実施 不法投棄等市民通報員による情報収集 により、未然防止、早期発見・拡大防止を進めています。	1
2	環境局	環境対策について 世界規模の環境対策として、CO2削減等にコストがかかるのは理解できるが、財政力の弱い北九州市で十分な財源を工面するのは、今後相当厳しくなるのではないか。 環境対策は重要だと思うが、そのコストは一定の範囲内で、市民一人ひとりの意識改革など、お金のかからない取組みをもっと進めてはどうか。	1	現在、地球的規模で進んでいる地球温暖化問題を解決するには、市民・NPO、事業者、行政などのあらゆる主体が協働して、幅広い視点から取り組んでいくことが必要です。ご指摘のように、地球温暖化問題のような地球規模の問題も、解決のための出発点は「個人の生活」にあり、市民一人ひとりがよい環境、よい地域をつくっていかうとする意識を持ち、行動を起こしていくことが重要です。そのために、本市では家庭からのCO2削減を目的とした「環境家計簿」やその簡易版である「エコチェックシート」の普及を行っています。また、地域にお伺いして環境施策を説明する「出前講演」等、環境モデル都市のPR活動などを通じて市民の方の意識啓発を行っています。今後もこのような事業を積極的に進めることで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。	1

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
3	環境局	古紙リサイクル補助金について市民のごみ資源化への意識はかなり向上してきている。例えば、古紙リサイクル補助金がなくても、古紙回収の取組みが中止されるとは考えづらいので、コスト削減の面から、補助金の見直しを検討してはどうか。	1	本市の古紙リサイクル補助金（町内会などが行う集団資源回収に対する奨励金）は、ごみ減量と資源化の大きな柱を担っています。 市民の皆様が資源回収に意欲を持って取り組むとともに、古紙回収業者の方々が市況に左右されずに資源回収を安定的に継続していくためには、現在の補助金の制度が必要と考えています。 ご理解をお願いいたします。	2

7 アジアの中で成長する 市民意見なし

8 その他

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
1	総務企画局	行財政改革について 行財政改革は、以前より引き続き努力してほしい。	1	「北九州市経営プラン」における集中取組期間（平成21～22年度）は終了しましたが、行政の効率化は不断の取り組みとして継続する必要があり、平成23年度以降においても、引き続き行財政改革に取り組んでまいります。	1
2	財政局	予算要求状況の公開について 予算要求の内容をネット、市政だよりなど市民が見ることのできる媒体で公開してほしい。	1	予算要求の内容については、本市ホームページのほか、各区役所・出張所において公開しています。 今後も市民の皆さまに広く周知できるよう努力してまいります。	3
3	財政局	予算要求状況の公開について 資料が多過ぎて短時間では目を通せない。	1	各局の要求方針において、分野別に主要事業や重点事業、また特色のある事業にポイントを絞って公開しております。 今後も、公表する資料については、より分かりやすいものになるように努めてまいります。	3
4	財政局	予算への意見提出について ×方式で記入する等、簡単にアンケート記入できるように考えたほうがいい。	1	意見募集の方法に関して幅広く自由な意見を頂くため、記述方式としております。 ご理解の上、ご協力をお願いいたします。	3
5	財政局	当初予算について 今まで市長選の年（07年は除く）でも3月議会には本予算を出してきたのに、今年はなぜ6月になったのか。	1	本市では市長選挙後の予算では通例暫定予算を編成することとしており、23年度につきましても、4月から6月までの3ヶ月間の暫定予算を計上しております。 なお、これまでの予算編成において、過去に2度（平成11、15年度予算）当時の厳しい景気状況への配慮や国の動向等も踏まえ、年間総合予算を計上したことがあります。	3
6	財政局	市債残高について 歳出予算に占める割合が高いので、市債減少に力を入れるべきである。	1	本市は、積極的に都市基盤等整備を進めてきたことにより、市債の発行額が増加し、市債の元利金を返済する経費である公債費も増加しています。 公債費につきましても、平成21年度にピークを乗り越えたものの、今後も高水準に止まると見込んでいます。 これら公債費の見込みや高齢化社会の進展によって、福祉・医療費の増加が見込まれることから、本市では平成20年12月に「北九州市経営プラン」を策定し、事務事業の見直しや人件費の削減、公債費の抑制など収支改善に積極的に取り組んでおり、将来に渡って持続可能で安定した財政を確立したいと考えております。	3

番号	局名	意見の概要	件数	本市の考え方	反映結果
7	財政局	市債に係る金利について 市債の発行金利は2%程度とのことであるが、その金利負担は市民が担うこととなるので、必要な事業をしっかりと吟味していただきたい。	1	本市では、多様な行政需要に対応し、限られた財源の中で行政サービスの満足度を高めるため、「北九州市経営プラン」に基づき、様々な取組みを行い、事務事業の選択と集中を行っているところです。 市債の発行金利につきましても、できる限り低利での起債を行う取組みを行っているところです。	1
8	建設局	フラワーコーディネーターについて フラワーコーディネーターの活動費の一部を助成してほしい。	1	現在本市では、花と緑の普及啓発を目的として、平成18年よりフラワーコーディネーターの技術向上などを目的とした講座を開催しております（年4回）。フラワーコーディネーターの方が個人的に活動される際に助成する制度は今のところありませんが、花と緑の普及啓発という観点等も踏まえ、今後研究してまいります。	2
9	戸畑区	区役所の待遇について 予算への意見とは違うが、一昨年5月に引越して来て戸畑の区役所二階に数度行っているが、毎回、カウンターで呼んでも人が出てきてくれない。仕事をしている様子は見受けられなく、お役所仕事とは本当に？こんなものだろうかとがっかりした。	1	区役所内のすべての窓口における職員一人ひとりが、市民の皆様に対して親切で丁寧な対応を心がけるよう努めてまいります。	3
10	市議会事務局	議会運営費について 議会運営費（会議出席費用弁償）とは何か。	1	議会運営費（会議出席費用弁償）は、議員が議会の本会議又は委員会に出席する場合には、交通費やその他連絡調整のための諸費用がかかるとの考え方から、これらの費用を弁償するものです。 本市議会議員の場合は、「北九州市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」に基づき、本会議又は委員会に出席した場合、自宅から議事堂までの距離に応じて支給されています。	3
11	市議会事務局	政務調査費について 政務調査費交付金は、使用範囲も議員の恣意的なものと思える。領収書さえ揃えておけばよいくらいの意識で、果たして個人的使途でなく、直接に市政に関与してのものであろうか、大いに疑問に思う。一市民感覚であるが、削減、節減の余地は充分にあると思う。	1	政務調査費は、市議会議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、「北九州市議会における政務調査費の交付に関する条例」に基づき、市議会の会派に対して交付されるもので、その使途については、条例及び規則にその交付の趣旨や使途基準が定められており、残余额が出た場合は、市に返還することとされています。 政務調査費は、その使途の透明性を図ることが重要であることから、毎年度、収支報告書を提出することが義務付けられており、平成19年度交付分からは、収支報告書に加え、1件5万円以上の支出について領収書等の写しを提出することが義務付けられております。提出された収支報告書等は、市議会事務局で市民の皆様にご覧いただけるようになっております。 さらに、本市議会では、昨年12月に「政務調査費使途基準運用マニュアル」を作成して本年4月から適用するとともに、平成23年度交付分からは、すべての支出について領収書等の写しを提出することを義務付け、政務調査費の更なる使途の適正化と透明性の向上を図ったところです。 いずれにいたしましても、政務調査費は、議員の市政に関する調査研究活動を支える上で必要なものと考えております。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。	3